

福井県と（公社）福井県観光連盟は、11月12日（水）に東京都千代田区飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにおいて、旅行商品造成東京会議を開催しました。

来年3月の北陸新幹線金沢開業と同年10月からの北陸デスティネーションキャンペーン（北陸DC）を誘客拡大につなげるため、県内からホテルや旅館などの観光施設や市町の担当者など35団体44名が参加し、首都圏の旅行会社やメディアなど36社87名に対して、それぞれの魅力をアピールしました。

また、県からは、北陸DCのテーマ「ジャパニーズビューティーホクリク～日本の美は、北陸にあり。～」に合わせた福井のいち押し観光素材をPRするとともに、季節ごとの周遊モデルコースを提案しました。

引き続き行われた交流会においては、同ホテルで開催中の「福井フェア」と連携して小鯛の笹漬けや甘鯛の一夜干し、厚揚げなど旬の食材を使った料理を提供したほか、越前がにや、ブランド化を進めている三ツ星若狭牛、地酒、銘菓など福井県の食の美味しさを直に訴えました。

今後も、旅行会社等へのフォローアップを積極的に行い、本県への旅行商品造成等に努めていきます。

<参考>

○ 県内関係者の声

- ・北陸新幹線開業を直前に控え、北陸に対する関心の高さを感じた。追加の情報を求められることも多く、以前に増して、具体的な商談ができた。
- ・単独エリアの情報だけでなく、周辺エリアを含めた広域の情報を提供することが必要だと強く感じた。
- ・これを単発のものに終わらせることなく、よいきっかけにして営業を継続し、顧客獲得につなげていきたい。

○ 旅行会社等の声

- ・北陸DCに向けて、観光素材が十分に磨き上げられている印象を受けた。説明者の熱意とともに、福井県の一体感を感じた。
- ・福井県は首都圏にあまりなじみがないが、それだけに新たな観光客を取り込める余地がある。福井のことをよく勉強して魅力的な商品を作っていきたい。
- ・交流会で提供された料理はどれも美味しく、福井の食の実力を堪能した。自信を持って勧めていきたい。

<商談会>



<交流会>

